

京都鞍馬口医療センター地域連絡協議会 議事概要

- 日 時 平成 31 年 2 月 21 日 (木) 14 : 00 ~ 14 : 45
- 場 所 5 階講堂
- 議 題
- 1.院長挨拶
 - 2.当院における診療体制並びに地域医療連携の現状について
 - 3.訪問看護ステーションの運営状況について
 - 4.京都鞍馬口医療センターへの意見及び要望について
 - 5.その他

出席者 ・ 地域連絡協議会委員 (敬称略)

上京東部医師会理事	小林雅夫
北区役所健康福祉部健康長寿推進課担当課長	牧野敦子
紫明社会福祉協議会会長	柴山泰朗
病院利用者代表	山田友恵

・ 京都鞍馬口医療センター委員

院長	島崎千尋
副院長	村頭 智
事務部長	林 卓男
看護部長	岩下真美
看護師長	本田順子

・ 庶務

総務企画課長	白倉直樹
--------	------

会議内容

1.院長挨拶

JCHO移行から丸5年を経過し、この4月からは第2期中期計画に入る。超高齢化に対し、地域包括ケアシステムの要として責務を果たしたい。また、地域のニーズを十分に把握し、応えていきたい。本日は忌憚のないご意見をいただきたい。

2. 当院における診療体制並びに地域医療連携の現状について

島崎院長より、資料を用いて説明。

3. 訪問看護ステーションの運営状況について

(看護師長) 平成28年10月より、訪問看護室から訪問看護ステーションに変わり、24h体制としている。点滴や痰吸引、人工呼吸器も行えることができ、看護・医療ともに提供できる体制としている。北区、上京区、左京区をエリアとしており、入院治療がスムーズに行えるというメリットもある。今後ともよろしく願います。

4. 京都鞍馬口医療センターへの意見及び要望について

(事務部長) 3/10第60回の市民公開講座を開催する。平成15年から開始し、60回目となる。今回は外科と薬剤科から演題を用意した。

(柴山) 紫明社会福祉協議会では、市民公開講座やほがらかサロンの開催案内を回覧、配付させていただいている。また、非常に好評で、内容も検討されており、とてもわかりやすい。意見を直接聞くことができ、信頼度もある。是非継続的にお願いしたい。

(山田) 年々参加者も増えているように思える。いつも楽しく、ゆっくりと聞かせていただいている。また、訪問看護を利用している方も本当に喜んでいる。手厚い看護で、安心して預けられると感謝されている。患者向けに投書箱を置いておられるが、月あたりの件数や問題点の活用方法を聞かせてほしい。

(看護部長) 週1回回収しており、投書は月0~3件程度。関係部署ごとに回答し、1階の投書箱の横に回答ファイルを設置している。リアルタイムの回答ではないが、一度お読みください。また、昨年1月に実施した患者満足度調査の結果も掲示しており、近々ホームページにも載せる予定。

(柴山) 訪問看護ステーションは、在宅の患者の対応ですよね。まだ、知らない方が多いのではないだろうか。広報のお手伝いぐらいならできる。回覧でも、ポスターでも協力は惜しまない。

(看護師長) まだまだ知られていないところもある。困っているのに、SOSが聞こえてこないところもある。1階医療相談室や当看護ステーション、開業医等いろいろ窓口はある。相談いただければ、すぐに動きます。

(牧野) いつも、レスパイト入院等ご相談いただいている。北区も高齢化がさらに進んでおり、単身世帯も増加している。行政としても在宅に向けての調整をしていきたい。また、昨年北区も災害の被害に遭い、防災に関するマニュアルを作成しているところ。区役所としても大規模災害時には、区内の医療機関10病院の被災状況を確認する必要があり、その際には情報共有をよろしく願います。

(事務部長) 当院にも災害時優先電話が2本設置されている。当然、情報共有は可能。先日の北医師会との話し合いの中でも同じような要望があった。

(柴山) 貴院は期待されている大切な病院でもあり、情報を密によろしく願いたい。救急患者についてもよく受けていただいていると感じている。

(小林) 医院の医師では、なかなか在宅で看取りはむずかしい。常勤医師1名では、在宅医療、訪問診療は無理かと思われる。私も、看護ステーションがあるので、2、3人は診ることができる。病院とのつながりは必要。今後も病院や訪問看護ステーションと連携しながら少しずつがんばりたい。

(山田) 整形外科の医師の異動が多いので少し困っている。

(院長) 京都府立医科大学の人事によるもので、申し訳ない。

5.閉会の挨拶

(副院長) 本日は、たいへん貴重なご意見をいただきありがとうございました。当院もレスパイト入院等にも協力できるように力を注ぎます。また、訪問看護ステーションも軌道に乗り、リアルタイムの情報をより一層いただけるとありがたい。本日は、ありがとうございました。